山行報告書

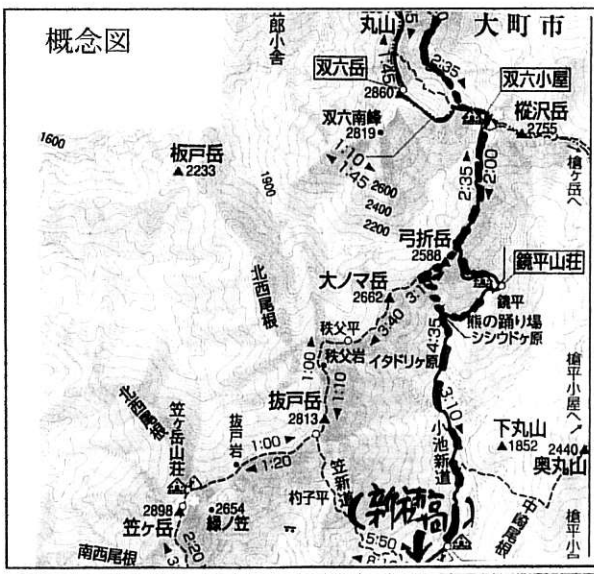
報告書作成	2008年8月17日

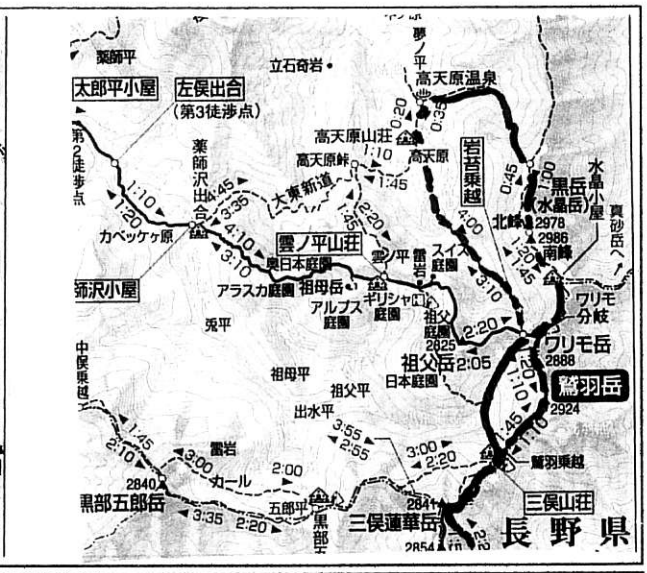
山名［山域］	北アルプス（鷲羽・水晶）	目的と方法	温泉と展望とお花見
登山期間	8/9～8/12	山行形態	ピストン一部周回
参加人数	2人		

行動記録

9日（土）新穂高温泉（5：45）－ワサビ小屋（7:00）－鏡平（10：30、11：00）－双六小屋14：00（泊）　夕食＆宿泊（7600円）
10日（日）双六小屋（4：45）－巻道分岐（5：00）－（朝食）－三俣峠（6：30）－三俣分岐（7：00）－岩苔乗越（8：35）－水晶小屋（9：35）－水晶岳（10：35）－温泉ノ頭（11：45）－温泉沢分岐（13：20）－高天原温泉（14：20、16：30）－高天原山荘（17：00）（泊）　夕食＆宿泊（7600円・温泉無料）
11日（月）高天原山荘（4：40）－岩苔乗越（7：55）－分岐（8：20）－ワリモ岳－鷲羽岳（9：20、10：10）－三俣小屋（11：35、45）－三俣峠（12：25）－双六小屋（14：15）（泊）　素泊まり（5800円）
12日（火）双六小屋（5：00）－弓折岳（6：10）－大ノマ乗越（7：00）－シシウドヶ原（8：00）秩父沢（8：00）－ワサビ小屋－新穂高（11：00）温泉＝　11：50発＝高山＝岐阜＝岡崎駅

概念図





日誌

9日：天候は薄曇＆晴。夜行バス（名古屋・新穂高5500円）は　空いていて一人二席で安眠できた。出発が　6時近くになるのは仕方がない。当初は　できれば　三俣山荘まで行く予定であったが　あまりの暑さと　1500mの標高を登ることで　鏡平山荘で　双六泊に決定。登山者は想像した程ではない。笠ヶ岳への分岐あたりから　遠くに雷を聞く。雲行きもあやしくなり　少量の雨に合う。雨具を出すもすぐに　必要なくなり　小屋に着く。小屋は　大きい敷布団二枚に三人の広さで　狭く感じることもなく快適。小屋は　乾燥室も完備。たとえ雨に降られても　快適である。夜　雷雨。宿泊者には　水・お茶・お湯が無料サービス。
10日：快晴。朝食は　出発後展望とご来光を楽しみながらということで　三俣への巻道で摂る。ご来光・槍から連なる北アルプスの展望を楽しみながら　傍らには　高山植物。至福の朝食である。三俣山荘から黒部源流の巻道も　暑さを凌げ　又　高山植物を愛でながらの散策気分である。鷲羽への登頂は　翌日にし、水晶から温泉沢を下るコースに決定。岩苔乗越から　水晶小屋・水晶への登山道は　イワギキョウが最も綺麗に映えるところであった。登山者の殆どが　乗越か　小屋に荷物を置き水晶への登山である。この日　水晶から温泉沢への下りは　4名。私たち以外は　単独の強健な男性がそれぞれ単独であった。頭から沢までは　植物さえも生えない荒れ果てたガレ場の急降下で　一歩一歩慎重に歩く。沢からの下りは　右岸左岸と　大きいごろ石を渡りながら進む。マークやケルンがあるので　迷う事はない。ただ　雨後で水量の多い時は　渡渉はかなり困難が想定されお勧めはできない。今回の目的の温泉につかり　長年温めてきた想いに満足した。
11日：晴・水晶池経由岩苔乗越から　鷲羽へ。頂上は　まさに　北アのど真ん中。360度の大展望を心ゆくまで楽しんだ。双六小屋まで　往路を。
12日：晴・のんびりと弓折岳経由で　下山。弓折の山頂も　予想以上の魅力である。

感想　同行のKさんとは　10年以上の山の友達である。何度も二人で山行してきた中なので　安心してお互いにのんびりコースの北アルプスの魅力に浸れた。天候にも恵まれた。